

学校だより

7月号



三中HP

アクセス

QRコード

# それゆけ三中

教育目標：より確かに・より豊かに・より遙しく

令和3年7月6日

足利市立第三中学校

生徒数：190名

発行者：高木秀和



雲の切れ間から差し込む陽射しを目で追った生徒が見つけたのは、三中の校庭からずっと奥に架かった大きな虹でした。6月24日木曜日、帰り際の雷雨に部活動を中止し、学校待機をした日のことです。雷雲が去り、待機解除の10分程前、まだお迎え等なく教室で待機していた数十名の生徒達は、担任や実習生と廊下や教室で語っていました。そんな時、一人の生徒がつい先程まで暗かった窓枠に流れこむ光に肩を叩かれての発見でした。低音を廊下に落としていた語り声は、虹の出現で高い歓喜の声となって跳ね上りました。



2-1 学級目標

2-2 学級目標

今月は、2年生の学級目標の紹介です。2年1組「One for all. All for one. ひとりはみんなのために。みんなはひとりのために。」、2年2組「絆 信じる心と絆を深めて Let's try!」。多感な時期、互いにぶつかり、支え、強い繋がりが生まれます。

## 県春季体育大会6/4金～6土 男子バレーボール部・バドミントン部・ソフトテニス部 全選手に心から拍手を！



男子バレー部 会場はアリーナ田沼、南犬飼中と対戦しました。ボールを繋ぎ続ける難しさと喜びを同時に噛みしめる激闘で、攻守と共に攻めの姿勢、サーブでの勝負も勇敢でした。 バドミントン部 団体戦はブレックスアリーナ宇都宮で若松原中と戦い、とてもいい試合内容でした。個人は真岡総合体育館、シングルスに■くんが強豪の若松原中と、ダブルスは■くん、■くんペアが石橋中と熱戦を展開し粘り強く三中魂を見せました。 ソフトテニス部 石川スポーツグランドくろいそテニスコートで、■さん、■さんペアが、まずは厚崎中をサーブ、スマッシュで翻弄し圧勝、姿川



中とのラリーはスピードもパワーも重厚で瞬きを許さない激闘でした。



## 地区春季体育大会6/19土 水泳



■くん(50m 2位 100m 1位)

■くん(50m, 100m 1位)

強い雨が断続的に降る中、市営グランドの屋外プールで大会は開催されました。3年生■くん、1年生■くんが、50m、100mの自由形で出場し見事2人ともに、7/2(金)からの県大会への出場となりました。肌寒い天候下での2人の力泳は見事でした。



## 1・2年生 防災ワークショップ 水害編 6/11金

PTAのOB会、■さんを中心に、OB会やPTA役員さんのご協力のもと、水害に対応するためのワークショップを開催しました。タブレットを活用し、自分の家を中心に各生徒が災害への危機意識を高くもって臨めました。足利市役所提供的ハザードマップや河川水位情報をいかに活用すべきか等、



実践的なことをより有効に学習できました。



## 1年生 那須高原 バス遠足 6/10木

突き抜ける青空と陽光をはね返す木々の新緑、1年生のバス遠足は天候に恵まれた一日となりました。那須高原では、午前中にオリエンテーリングをグループ活動で行い、午後は、地元の木材を活用しての焼き板づくりに挑戦しました。

「勉強中」、「〇〇の部屋」、「ゲーム中」等生徒が思い思いのメッセージをデザインして、世界に一つのオリジナル焼き板を完成させました。



## 2年生 とちぎ未来大使 書道家「さおり」さんの講演と実技指導



佐野市出身の書道家「さおり」さんを講師に迎え、キャリア教育の一つとしての講演会を実施しました。立志式を迎える2年生は、その節目に、一度自分の将来について、思いを馳せることも大切です。さおりさんの夢に向かったお話の後で、1組は「絆」、2組は「輝」の文字を書き、さおりさんからアドバイスをいただきました。今回、さおりさんが文字のインパクトを強く感じた、2-1 [REDACTED]くん、2-2 [REDACTED]くんの2人の書に「さおり賞」が贈られました。おめでとうございます。

6/14月



## 表彰朝会 6/16水 放送 (敬称略)

地区春季大会 ◎男子バドミントン部 団体

優勝 ([REDACTED])

シングルス [REDACTED] 第3位、ダブルス [REDACTED] ペア

準優勝◎女子卓球部  
部 [REDACTED] ペア 第3位 バドミントンシングルス大会 [REDACTED] 3位 ★おめでとう★



## 研究授業 音楽 [REDACTED]先生 6/17木

「大作曲家になろう！」という「ねらい」で、音符を食べ物にたとえることで、難しさを感じずに、音を繋げていくという大変興味深い授業でした。生徒の皆さんも、自分でリズムを選び、組み合わせて、自分オリジナルの曲づくりに挑戦しました。



## 生徒総会 6/18金

今年度も放送での生徒総会となりました。聞き手が見えない放送は、かえって緊張するものです。生徒会本部の企画・運営はスムーズで、これまでの準備期間の努力を感じました。また、各委員会の委員長さんも、活動報告・計画としっかりと各委員会の方針を述べました。



各委員会委員長

生徒会本部と担当の先生

## 3-1 [REDACTED]くん 三中のコピーライター！！ 3-1 [REDACTED]くん 空手で全国大会へ！！



令和3年度男女共同参画週間事業啓発  
キャチフレーズ 優秀賞 「なくそう男女  
差別、守ろう一人一人の個性」 6/26  
土、市民プラザにて表彰されました。  
男女差別がなくなって欲しいという思  
いを込めフレーズを考えたそうです。



5/16日、小山市で開催された県選  
手権で優勝し、8/21、山口市での  
全国大会に出場します。目標は全国ベ  
スト4とナショナルチーム入りです。  
高校進学も空手をメインにしていきた  
いと、空手にかける思いが伝わります。

## おかげさまで ~お世話になっている人に感謝の気持ちを~

「おかげさまで」という言葉を知っていますか。普段の生活では、最近はあまり聞かれなくなっていましたが、私が子どもの頃は、あいさつを交わすときにはよく使われた言葉です。「おかげさま」は「他人から受けた支援や親切に対して謝意を表す言葉」と国語辞典にはあります。ご近所付き合いなどを重視した時代の考え方方がよくわかります。



私たちは、自分だけの力で生活しているわけではありません。いろいろな方に支えてもらっています。1日の生活を振り返ってみるとそれがよくわかります。朝起きておいしいご飯が食べられるのは、それを作ってくれる人がいるからです。朝ごはんの材料であるお米や、麦、野菜などを栽培してくれる人がいるから様々な料理を作ることができます。ガスや電気が使えるから温かい料理が食べられます。味噌や醤油などの調味料も朝ごはんには不可欠です。日常のワンシーンを切り取って見ても、たくさんの人々が関わり合い、支え合って成り立っているのが皆さんの生活であることが容易に理解できます。

繰り返しますが、「おかげさまで」という言葉は、多くの人にお世話になって、今の自分の生活ができていることへの感謝の気持ちを表す言葉です。人間関係を円滑に、そして、豊かにしてくれる魔法の言葉です。ぜひ覚えてほしい言葉の一つです。

でも、皆さんの年齢では使いにくいかも知れません。では、「おかげさま」に代わる感謝の気持ちを表す言葉にはどんなものがあるでしょうか。「ありがとうございます」は、すぐに思い浮かびます。友達同士なら「サンキュー」と言うのもいいでしょう。いずれにしても誰かをしてもらったらすぐに言葉にして感謝の気持ちを表すことが大切です。考えてから言うというよりも反射的に、そして口癖のようになっていればとても良いと思います。コロナ禍で大きな声を出せなくなっていますが、たとえ小さな声でも笑顔で会釈すれば必ず気持ちは届きます。昔からの知恵を私たちも身に付け、ゆたかな人間関係を築いていきましょう。

らい すいたんまとだた  
雷の水弾窓叩き 師弟は言葉織る 灰雲を割る陽光 地平に円橋 浮かび  
かんき いつせいてんか  
歡喜一声天高く

